

市民と共に飛躍の年に

瀬戸内市長 武久顕也



新年あけましておめでとうござ
います。

市民の皆さんには、輝かしい新
春を健やかに迎えのことと心よ
りお慶び申し上げます。

さて、平成16年11月に誕生した
瀬戸内市は、合併から5年を経過
し、いよいよひとつの市として、
合併した効果を発揮するときに差
し掛かっているといえます。
国においても、政権交代により、
さまざまな見直しが行われている

ところであり、いろんな意味で変
化が予測される今、まさに本市独
自の経営を行っていく必要がある
と考えています。

就任以来、私が常に掲げている
「攻めの自治体経営」の意味する
ところは、守りの考えでは現状を
維持するのも危うい状況であるこ
とを認識するということです。つ
まり、市内に散在しているさまざ
まな良さを集めて飛躍していくた
めに、将来を見据えた「攻めの姿
勢」で、人・モノ・カネ・情報を
集めて、うまく組み合わせるこ
とが、現在求められていること
であると考えています。

いくつかの新しい取り組みとし
て、①副市長、教育委員（教育
長）の公募、②備前広域環境施設
組合からの脱退によるごみの共同

処理から単独自区内処理への方針
転換、③公募型補助金の導入によ
る市民活動の促進、④戦略会議の
設置による外部の専門家を交えた
緊急的かつ横断的な課題の解決に
向けた取り組み、⑤タウンミーテ
ィング、みらい会議の開催などを
実践してきました。

隣のまちだけを見るのではな
く、全国の先進事例などを参考に、
新しいことに挑戦したいと切に思
っています。

そして、市民の皆さんと共に英
知を集集して、社会現象が起きる
ような取り組みをしつかりと進め
ていけるように頑張ります。

最後に、市民の皆さんにとりま
して本年が、明るく希望に満ちた
年となりますようご祈念申し上
げ、年頭のご挨拶といたします。

はじめに

国では、事業仕分けをはじめと
したさまざまな見直し作業が行わ
れているところです。また、国へ
の陳情なども窓口を一本化する方
向で調整が進められています。

本市では、このような民主党政
権の動向を見極めつつ、本市独自
の経営を行っていく必要があると
考えており、今まで以上に情報を
いち早くとらえ、時勢に即した対
策をとっていくことが求められて
います。

市内14カ所で開催した「タウン
ミーティング」、小・中学生を含
む対象ごとに実施した「みらい
会議」も順調に進み、現在、これ
らの意見を集約し、市民の皆さん
に結果をお伝えする準備を進めて
います。建設的かつ示唆に富んだ
意見が多く、今後も市民の皆さん
との対話を重視して信頼関係をつ
くりながら、まちづくりに取り組
みたいと考えています。

また、市政戦略会議として、副
市長を全体の統括に据え、横断
的・緊急的課題ごとにプロジェクト

チームを設置し、進捗管理を行
い、検討結果を来年度の予算要求
や総合計画の策定に反映させてい
く予定です。

現在、来年度予算を編成してい
ます。その中では、今後迎える地
方交付税の削減などに対応するた
め財政運営適正化計画に基づき、
さらなる無駄な費用の削減に取り
組むことを目的としつつ、今取り
組まなければならない将来への投
資は、前向きに行う姿勢で臨むこ
とにします。

予算編成に当たっては、「効果
の上がらない新規事業、継続事業
は一切認めない」「優れた先進的
取り組みを調査した上で、予算編
成に臨む」、「関係課と調整の上、
予算要求を行う」の3点を職員に
徹底しています。

合併特例債の活用が平成26年度
までの期限とされる中、平成22年
度からは何を行い、何を削るのか
十分に検討した上で、具体的に計
画を進めていかなければならない
段階になると予測されます。財政
的な持続可能性を考慮した上で、
必要な手立てを講じる姿勢で臨み
たいと考えます。

行政報告

行政報告とは、市政における主な出来事を市長や教育長が市議会で
報告するものです。

11月定例議会が11月26日から開かれ、武久顕也市長と福池敏和教
育長職務代理者が行政報告を行いました。

このページからはその要旨を紹介します。

なお、全文は市ホームページで紹介しています。